

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	10月	20日	記入者	久門たつお
調査者名	亀田	久門	中川邦		

調査対象先	龍泉寺(曹洞宗)				
所在地	吉野郡東吉野村鷲家256			電話番号	0746-42-0555
代表者 調査対応者	加藤賢一住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	1件	国宝:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	平安初期作の県指定、木造如来坐像を安置する収蔵庫「慈光殿」を1988年(昭和63)に県補助を受けて建造。鉄骨コンクリート瓦葺きの方形造で、耐震性は十分あると考えている。
	今後の予定	今年、村指定を受けた平安初期作の木造阿弥陀如来坐像も慈光殿に安置しており、2体をお守りしていきたい。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	慈光殿は構造的に耐火性は万全と考えている。本尊の野見観音菩薩を祀る野見観音堂には火災感知器を設置、消火器を配備している。
	今後の予定	特にない。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

龍泉寺(曹洞宗)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

県指定の木造如来坐像。平安初期作で、像高43.6㍎



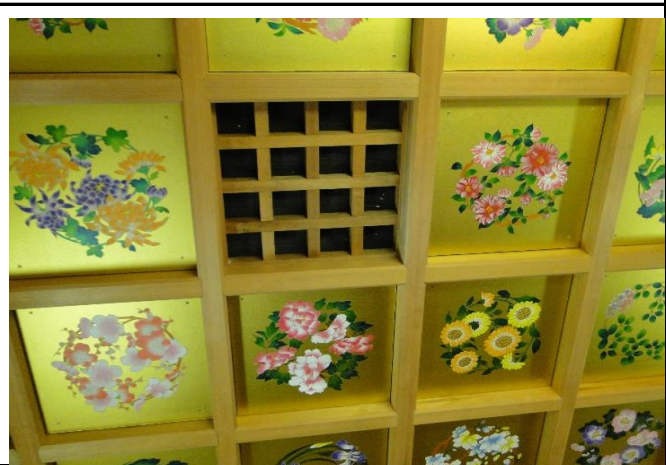
木造如来坐像を収蔵する鉄骨瓦葺きの慈光殿



野見観音菩薩(左)と村指定の木造阿弥陀如来坐像



慈光殿の格天井は花の絵が描かれ通気性に配慮



本尊の木造野見観音菩薩立像安置の野見観音堂

【調査票記入者(久門たつお)の感想】



県指定の仏像を安置する収蔵庫は鉄骨コンクリート造で、まだ築30年ほど。耐震性、防火性はクリアできていると思われる。山間地にあるが、獣害は特になしとのことで、現状を維持していただきたい。